

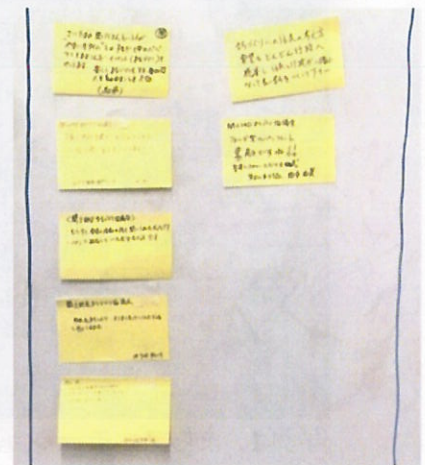
平成29年度 立正佼成会一食平和基金  
宮城県復興支援事業 復興まちづくり協議会等事務局基盤強化・学び合い助成  
採択団体活動報告会

日時：平成30年3月17日(土) 11:00~16:00  
場所：亘理町 農村環境改善センター(旧吉田公民館) 第3研修室  
内容：1. 事業実施の成果と課題の報告(1団体7分)  
2. 私たちの“まちプロモーション”(1団体5分)  
3. 視察&植樹

## ◎ 概要

## 【閑上の報告に対するコメント】

- ・ NPO法人ハンズオン！埼玉の西川さんという人が、“やきいもタイム”とか子育て中のパパ・ママを巻き込んだイベント(まちづくり)をやっています。楽しくまちづくりに参加する人を巻き込むことが大切です。[紅邑]
- ・ 子育て世代を巻き込むための工夫がよいと思いました。(ママ茶会)[中沢]
- ・ もう少し全体の活動の話も聞いてみたかったです。
- ・ まちづくりへの住民の考え方・要望をどんどん行政へ提案し、住民と行政が一緒になって良いまちをつくって下さい。
- ・ 行政を巻き込むとより良くなっていくだろうと感じました。[わたりグリーンベルト]
- ・ 拠点づくり同感しました。どのような方法で確保するのか？[わたりグリーンベルト]
- ・ イベントを多数やられていますが人手はどう手配しているのか？十分に間に合っているのか？[南気仙沼]
- ・ フォルダ型のパンフレット素敵です。参考にさせていただきます。[鮎川港]
- ・ 次は閑上で集まれるといい。[あおい地区]



## 【他団体の報告を聞いて】

- ・ わかりやすく目標を掲げ、具体的な事業に着手している。
  - わたり：震災前の海岸林に戻す→色んな人を巻き込んだ植樹
  - あおい：他地区に追いつけるよう、自分たちで住民を守る→高齢者の見守り・農園
  - 鮎川港：牡鹿半島のブランド化→食の研究会で「お土産」商品開発・デザイン統一
  - 網地島：島の観光地化→2万人の海水浴客をまちに引き込むマップ・案内板づくり
- ・ 地域らしさと常に向き合う。独自のつながりを活かして視察などに取り組んでいた。
- ・ 植樹の受け入れやお土産の販売など外からお金を落としてもらって、自分たちのやるべきことにお金を回す仕組みを検討している。

## 【次年度について】

- ・ 助成事業としては終了となるが、復興支援は継続する方向で話している。



写真1. まちプロモーションのプレゼン



写真2. 植樹の様子